

目 次

特別講演		
農薬と「環境ホルモン」問題	松尾昌季	1
病害の部		
(イネ・ムギの病害)		
種子伝染によるイネ苗いもち発病の実証	江口直樹・山下 亨・赤沼礼一・内藤秀樹	7
水稻ロングマット水耕育苗法における種子消毒剤の適応性	宮坂 篤・園田亮一・内藤秀樹	9
(畑作物の病害)		
<i>Fusarium oxysporum</i> によるコンニャク乾腐病に対する耐病性の品種間差異	柴田 聡	11
スリランカにおける <i>Pythium</i> 属菌による Cocoyam 根腐病の薬剤による防除	小野 浩・米山伸吾・J. A. S. Jayakody	15
(野菜の病害)		
長野県で発生した <i>Pseudomonas marginalis</i> pv. <i>marginalis</i> による露地ハクサイの腐敗病	藤永真史・小木曾秀紀・樫山岳彦・白石順一・荒井好郎	19
カーバムナトリウム塩液剤のマルチ畦内処理および散布土壌混和処理による ハクサイ黄化病の防除効果	藤永真史・竹花祐二・関口秀博・和田健夫・荒井好郎	23
キャベツ根こぶ病およびパーティシリウム萎凋病に対する土壌くん蒸剤(カーバム剤)の 処理方法の検討	小林逸郎・剣持伊佐男・大塚邦雄・市川淑子・土屋 実	27
キャベツから分離した <i>Verticillium longisporum</i> および <i>Verticillium dahliae</i> の各種作物に 対する病原性	剣持伊佐男・酒井 宏・白石俊昌	31
ナバナ花蕾腐敗症状から分離される細菌とその病原性	佐藤 圭・陶山一雄・植松清次・松尾多恵子・根岸寛光・脇本 哲	35
各種土壌におけるレタス根腐病の発病と病原菌密度の関係	小木曾秀紀・清水時哉	39
ウリ類うどんこ病に対するうどんこ病防除薬剤への各種展着剤の加用効果	折原紀子・植草秀敏・草野一敬	43
(果樹の病害)		
長野県南部地方におけるリンゴ褐斑病の後期感染時期と感染程度	広間勝巳・岩波靖彦	47
(花卉の病害)		
トルコギキョウ白絹病の発生	富田恭範・小木曾秀紀	49
<i>Rhizoctonia solani</i> によるアスチルベおよびオタカンサス立枯病(新称)の発生	竹内 純・堀江博道	53
シュクコンアスターおよびムギワラギク菌核病(新称)の発生	竹内 純・堀江博道	57
ランタンキュラスの菌核病(新称)	漆原寿彦・酒井 宏・萩原 廣・井 智史・浅見暁子	61
ミムラスの灰色かび病(新称)	漆原寿彦・庄内玲子・萩原 廣・井 智史・酒井 宏・相澤 直	63
ニューギニア・インパチェンス根腐病(新称)	庄司俊彦・萩原 廣・井 智史	65
栄養繁殖性わい性リンドウに発生する病害(その1)	庄司俊彦・萩原 廣・井 智史	69
栄養繁殖性わい性リンドウに発生する病害(その2)	庄司俊彦	73
トマト黄化えそウイルス(TSWV)によるアルストロメリア黄化えそ病(新称)	高橋義行・高橋幸吉・小田九二夫・河野敏郎	77
虫害の部		
(イネの虫害)		
広食性単寄生蜂アオムシヒラタヒメバチの2系統間の寄主適合性と性比の比較	上野高敏	81

日本に飛来するトビイロウンカの抵抗性品種加害性の近年における状態 (野菜の虫害)	田中幸一	85
BT剤のハスモンヨトウに対する殺虫効果と寄主植物の関係	及川雅彦・長岡広行・森田和博・浅野昌司	89
長野県東信地域におけるコナガのBT剤感受性	丸山 威・柳沢 敏・岩佐智子・坂中一敦	93
テフルベンズロンで淘汰したコナガのベンゾイルフェニルウレア剤感受性と抵抗性の安定性	大津和久・桑原雅彦・遠藤正造	97
オオタバコガに対する各種殺虫剤の殺卵および殺ふ化幼虫効果	桑澤久仁厚	101
長野県主要レタス産地におけるオオタバコガの発消長と薬剤防除	檜山岳彦・藤永真史・荒井好郎	105
施設栽培トマトのコナジラミ類に対する <i>Beauveria bassiana</i> 製剤の防除効果	太田光昭・小澤朗人・小林久俊	109
ミカンキイロアザミウマの栄養生理 —各種温度条件下で蒸留水を与えた場合の生存期間—	小山健二・松井正春	113
ブタクサハムシの累代飼育	守屋成一	115
(茶の虫害)		
チャにおけるBT剤とIGR剤を基幹とした天敵保護防除体系下での害虫と天敵類の発生	多々良明夫	119
静岡県島田市におけるチャノコカクモンハマキの薬剤感受性低下	小杉由紀夫	123
散布方向の違いによるチャ葉への薬液到達程度の差異	小杉由紀夫	127
チャ葉の表裏への薬剤処理がチャハマキの殺虫効果に及ぼす影響	小杉由紀夫	129
線虫の部		
イチゴセンチュウによるホトトギス、シユウメイギクおよびクリスマスローズの 葉枯線虫病(新称)および各種植物における検出状況	牛山欽司	133
神奈川県におけるボタンとシャクヤクのイチゴセンチュウによる被害	牛山欽司	137
イチゴセンチュウによるブバルジア葉枯線虫の発生	竹内 純・水久保隆之・堀江博道・海保富士男・栄森弘己	141
根域制限法と太陽熱処理の組み合わせによるサツマイモネコブセンチュウおよびトマト 褐色根腐病の防除	三平東作・竹内妙子・福田 寛・川上敬志・山本二美	145
メロン黒点根腐病およびネコブセンチュウ主体のしおれ症状発生圃場におけるハウス 太陽熱利用または薬剤処理の防除効果	千葉恒夫・富田恭範・石井 貴・藤井政一	149
環境の部		
杉並区井草地区において「植物異常」を起こした病害虫	堀江博道・沼沢健一・竹内 純	153
農薬の部		
新規薬剤により小輪系アスターに発生した薬害事例	中村靖弘・青木孝一・萩谷俊一	159
その他		
関東東山地区に新たに発生が確認された病害虫(1998年度)		163
本会記事		168
関東東山病害虫研究会第46回研究発表会講演題目		170
英文目次(CONTENTS)		171
関東東山病害虫研究会報投稿規定, 執筆要領		174
関東東山病害虫研究会賛助会員		179